

- グンバイトンボ *Platycnemis foliacea sasakii*
  - 1981 7 5, 兵庫県川西市笹部(初谷川附近), 2exs.
  - 1981 7 12, 兵庫県川西市笹部(初谷川附近), 1ex.
  - 1981 7 15, 兵庫県川西市笹部(初谷川) 多数をみる。
  - 1981 7 26, 兵庫県川西市笹部(初谷川) 多数をみる。
- ハツチョウトンボ *Nannophya pygmaea*
  - 1979 7 8, 兵庫県猪名川町杉生新田, 4exs.
  - 1979 7 21, 兵庫県猪名川町杉生新田, 4exs.
  - 1979 7 27, 兵庫県猪名川町杉生新田, 4exs.
  - 1980 8 9, 兵庫県猪名川町杉生新田, ♀ 1ex.

### 甲山湿源のネアカヨシヤンマ

田 中 稔

1980年8月23日西宮市甲山湿源にてネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* の産卵を観察したので報告する。雨の上った午後3時頃、湿源内に本種の♀が飛来した。始め1m程の高さを飛びながら産卵場所を捜していたがやがて、バサバサと羽音をたててわずかに水がしみ出ているコケ、粘土状の土にとまり10秒程産卵をして飛び立った所を採集した。30分程の合計4♀が飛来して同じ様な所に産卵をした。ハツチョウトンボが多い水の少い所に、本種の産卵は意外な気がした。

### 宝塚市清荒神のチョウ(追録)

加 藤 信一郎

1981年10月4日正午、メスグロヒョウモン *Damora sagana ilona* Fruhstorfer 1♀を採集したので報告する。採集場所は自宅裏の小さい池沿いの小道で、低木の間を縫うように緩やかに飛んでいた。夏眠後の採品なので後翅端が若干欠けているが、鱗粉の脱落はさほど目立たない。

メスグロヒョウモンはヒョウモン類としてはそれほど珍しいものではないが、どこでも普通に見られ

るチョウではない。主として樹林周辺や山地の路傍に見られ、平地や草原には生息しない。当地では偶産種と思われる。これで清荒神で確認された種は41属53種、タテハチョウ科は13種となる。

## 宍粟郡波賀町水谷の甲虫 (兵庫県甲虫相資料・102)

高橋 寿郎

波賀町の原、赤西、音水、引原の各地域は豊富な昆虫(甲虫)相でその調査に訪れる人も多く、また数多くの報文も発表されていてその概畧が遂次解明されつつあることは大変喜ばしい次第である。これ等地域と丁度反対側(引原川をはさんで東側)は道谷附近をのぞいては、ほとんど調査されていないのが現状であろうと思われる。幸1981年7月12日蜂谷幸雄氏の御好意で水谷を訪問することが出来、そこでの甲虫の調査をすることが出来た。特に珍しいものはいないのだがこの地域からの甲虫相に就いては全く無いことから此処に記録を発表しておくことは強ち無意味でもないと考えあえて発表させて頂くことにした。末文ではあるが、この調査の機会を与えて下さった蜂谷幸雄氏に厚く御礼申しあげる。

### 甲虫相の概説

この波賀町水谷は国道29号線を姫路から北方、波賀町有賀と上野の接する地点を引原川から別れて水谷川に沿って東北に入り、下水谷、水谷の部落を経て奥水谷に行く手前で右折道路は可成り舗装された所を山の上にあがる。車は標高800メートル近くまで行ける。この道は先の地点に迄通じていないのであった。従って或る地点迄で引き返さなくては行けないようである。

山の頂上迄杉の植林地域で、一方は視界も開け水谷の部落がよく見えて素晴らしい状況である。標高750メートル位の地に可成り広い湿地帯が広がり、その中を溪流が流れていて大変状況のよい所であったが何分にも足場が悪く、そのあたりの調査がほとんど出来なかった。

時間をかけて調べると面白そうである。植相は広葉樹がほとんど見られないし、原生林的なものもなく伐採材の集積場所とか台場のような地点も見当らなかったで、これ等甲虫類の集る恰好の場所が無く充分の調査が出来なかった。したがって杉植林に囲れた比較的単純な植相での甲虫相と考えられた。たゞもう少々時間をかけると違った面での甲虫相もわかると考えられる。

採集出来た甲虫は29科96種(若干の未同定種がある)だった。まずもって余り特徴の無い平凡な甲虫相を呈していると云うことが、今回の調査ではわかった。特に注意しなくてはならない様な種も見られなかった。僅か1日の調査であるから(時間的制約もあった)ほんのこの地域での甲虫相の入口に